



「ルーツ&アーツしらおい2022」8月27日より開幕！ 15組のアーティストが白老町内22ヶ所でアート作品を展開

北海道白老町を舞台に開催する文化観光プロジェクト「ルーツ&アーツしらおい2022」が、いよいよ8月27日(土)から開幕し、10月10日(月・祝)までの39日間開催します。白老町内22ヶ所の会場で、国内外から15組のアーティストが展示やパフォーマンスを展開します。

2年目となる今年は、プログラム数や参加アーティストが大幅に増え、白老町の特性や特徴を生かした作品展示、パフォーミングアーツ、住民や来訪者と共に作り上げるプロジェクトなど、さまざまな企画が白老町内を会場に行われます。



<コンセプトと開催の狙い>

企画の軸になるのは「ルーツ」と「アーツ」です。白老に根づく文化や伝承・人の営み(=ルーツ)を再発見・再編集し、アーティスト・住民・来訪者が共創しながら表現(=アーツ)していくことを目指します。この事業により、町の未来の観光・文化資源を創出し、新しい関係人口とコミュニティを生み出すことを目的としています。

<メインビジュアルについて>

メインビジュアルは、参加アーティスト 野生の学舎 が白老町民らと制作した、表情豊かな土面を配置しています。この土面は白老町の河川で採取した粘土を使用し、町民らとのワークショップによって制作・野焼きをしたものです。これらの土面を含め百数十にもなる土面は、白老町森野の廃校となった「旧森野小中学校」に展示されます。また「ルーツとアーツ」の題字は、大町商店街にある「喫茶 休養林」の店主 相吉正亮さん(82)によるものです。木彫り作家として白老町に根差し、自然保護活動や創作活動に取り組んでいらっしゃる相吉さんは、「ルーツ」と「アーツ」を体現する方と言えます。その「ルーツとアーツ」の文字を依頼し、魂を吹き込んでいただきました。

参加アーティスト一覧 (五十音順)

青木陵子+伊藤存、iruinai、石川大峰、梅田哲也、大黒淳一、おたのしみ劇場 ガウチョス、香川軍男、是恒さくら、白老アイヌ工芸グループ、鈴木ヒラク、曾我英子、森と街のがっこう、野生の学舎、吉田卓矢、四辻藍美 (計15組)

＜暮らしや風景の一部となっている場所が会場に＞

展示場所は、参加アーティストが白老での滞在の中で、地域住民らと関係を築いていく中で見つけていきました。会場の中には、町民のみならず地域で愛される食料品スーパーや元飲食店の外壁（吉田卓矢氏）、廃止になった燈台（大黒淳一氏）、森の中の廃校（野生の学舎）、喫茶店隣の空き店舗（青木稜子+伊藤存、曾我英子）、町民が憩う町立図書館（是恒さくら）、旧鉄工所（青木稜子+伊藤存、梅田哲也）など、暮らしや日常風景の一部になっている場所が多くあります。（別紙添付 ルーツ&アーツしらおいMAP）

町外からの来訪者が町中を回遊しながら白老町の新しい側面を発見すること、また住民にとっても違う角度から改めて町を見る機会になるのではないかと期待しています。



＜クラウドファンディング実施中＞

プロジェクトのロゴをあしらった「オリジナルハンカチーフ」を制作しました。カバンやポケットチーフ、スカーフとして毎日身につけて「ルーツ&アーツしらおい」を応援してくれる方を募集しています。

クラウドファンディングサイト「ACT NOW」
https://actnow.jp/project/roots_arts/detail

応援プラン

- 1,500円/オリジナルハンカチーフどちらか1枚+お礼のお手紙
- 3,000円/オリジナルハンカチーフ2枚セット+お礼のお手紙
- 5,000円/お礼のお手紙+活動記録集の送付 など



開催概要

「ルーツ&アーツしらおい2022」

会 期 2022年8月27日(土)～10月10日(月・祝) 全39日間 *月曜日は休み（祝日の場合を除く）
会 場 白老町内各所（北海道白老郡白老町）
主 催 文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会／白老文化観光推進実行委員会
助 成 公益財団法人 福武財団
URL <https://www.shi-ra-oi.jp/>



*白老町とは

白老町は、北海道南西部に位置する「多文化共生のまち実現」を掲げる、太平洋と山々に囲まれた人口1.7万人の町です。地域独自の文化資源と歴史軸、アイヌ文化とが共存する町で、2020年7月に国立文化施設「民族共生象徴空間 ウポポイ」がオープンしました。



—このリリースについての問い合わせ—

白老文化観光推進実行委員会
事務局 広報 山岸奈津子
090-6995-8835
shiraoi.ra@gmail.com